

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和4年9月定例会	
議案番号 議案名	<p>認定第1号 令和3年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第2号 令和3年度松戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第3号 令和3年度松戸市松戸競輪特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第6号 令和3年度松戸市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第7号 令和3年度松戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第8号 令和3年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第10号 令和3年度松戸市病院事業決算の認定について</p>
議員名・会派名等	はじめの会（鴈野聡、岡本優子、小沢暁民）
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>今定例会に上程されております、認定第1号令和3年度松戸市一般会計歳入歳出決算から認定第11号令和3年度松戸市下水道事業決算までの11件につきまして、会派を代表して、委員長報告のとおり認定することに、賛成の立場から討論を行います。</p> <p>まずは認定第1号、令和3年度松戸市一般会計歳入歳出について申し上げます。</p> <p>2千9億円の歳入歳出予算に対して、歳入が1千956億円、歳出が1千858億円、差し引き98億円、実質収支が90億円の黒字という結果となりました。しかしながら、中身を精査すると、実質収支の倍以上、188億円もの市債が隠れています。基礎的財政収支、いわゆるプライマリーバランスは、30億円の黒字となって驚きましたが、地方交付税交付金の増額などが理由です。大喜びは出来ませんが、プライマリーバランス黒字化の実現可能性が示されたとも言えます。</p>

歳出については、2千9億円の予算のうち、63億円の不用額、つまり使わなかった費用が発生しております。これを率にした不用率は、予算と決算のギャップを示す指標ではありますが、この不用率は3.1%なので、全体の予算執行についての違和感はありません。

以上、認定第1号令和3年度松戸市一般会計歳入歳出決算についての賛成討論と致します。

次に、特別会計について申し上げます。特別会計についても不用率を中心に予算執行の状況を見てまいりました。認定第2号松戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算から認定第8号松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の7件については、全体の不用率が1.8%であり、大きな問題はないと判断し、賛成の討論と致します。

最後に企業会計です。企業会計については、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書の数字を中心に確認をしました。

損益計算書は採算が取れているか、貸借対照表は財産の状況、キャッシュフロー計算書は、俗に「利益は意見、キャッシュは事実」と言われる財務諸表で、お金の出入りを示します。

順番は前後しますが、認定第9号令和3年度松戸市水道事業決算と認定第11号令和3年度松戸市下水道事業決算については、いずれも損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書共に妥当なものであると判断し、賛成の討論と致します。

認定第10号令和3年度松戸市病院事業決算については、総合医療センターの損益計算書で2億円の経常利益が出ており、正直驚いております。これは医業損失が10億円ほど減って経営が改善されたことが大きく影響しており、関係各位のご尽力に深く敬意を表する次第です。

一方、病院事業全体の貸借対照表では、232億円の資本金に対して、欠損金が100億円の大台に乗り、財務的には依然として脆弱な状況にあります。しかしながら、先に申し上げました総合医療センターの医業損失の削減や、市立東松戸病院の廃止決定など経営のあり方の見直しに着手した点など総合的に評価して、賛成の討論と致します。

以上をもちまして、認定第1号から認定第11号までの11件に対する会派を代表しての賛成の討論と致します。満場のみなさまのご賛同を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。